

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		東大和市戦没者追悼事業費 [戦没者遺族支援事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	事業番号	16	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	福祉推進			課			庶務			係	課長名	山田 茂人
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	5 - 4			
【施策名】 地域を越えたパートナーシップの確立								総合計画書 (ページ)	113			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	東大和市遺族会会員				遺族会会員数							
	→											
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	戦没者を追悼することにより、残された遺族の方々に平和の尊さを再認識してもらう。				事業参加者/遺族会会員数							
	→											
3 経費	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	恒久平和を願い、戦没者追悼式及び総会を行う。				事業数							
	→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	91	83	72						
	成果指標	②の数値	%	25.2	0.0	34.7						
	目標	②の目標値	%	100	100	100						
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)												
残された遺族の方々に平和の尊さを認識してもらうため。												
活動指標		③の数値	回	2	2	2						
3 経費	事業費(実績)		円	497,693	0	512,600		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	497,693	0	512,600						
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0						
	(うち受益者負担)		円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.2	0.2	0.2					
		所要人数(再任用)		人								
		職員人件費(再任用以外)		円	1,662,000	1,676,000	1,650,000					
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	2,159,693	1,676,000	2,162,600							
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度									
	(2) 環境の変化		高齢化による体力の低下等が見られ、総会や戦没者追悼式等の事業に参加する遺族が少なくなっている。 令和3年度は、新型コロナにより戦没者追悼式が縮小開催となった。 令和2年度は、新型コロナの影響により総会、戦没者追悼式が中止となった。 平成31年度は、台風の影響により、戦没者追悼式が中止となった。									

事業名称	東大和市戦没者追悼事業費 [戦没者遺族支援事業]			
担当部署・課長名	福祉推進	課	庶務	係 課長名 山田 茂人

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 遺族会の運営に係る費用は会員からの会費により賄われている。また、遺族の高齢化により会員が減っており、今後の会のつつがない運営に支障が生じる可能性があることから、会員の拡大についての方法等の相談を受けている。			
	6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）		
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ		取組手法：⑧		
<input type="checkbox"/> 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ 遺族会から意見を徴収		
7 課題	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 遺族会自体にはもう会を運営できるだけの役員等がない。遺族会側は自発的に解散するまで市の協力体制をお願いしているが、遺族会の今後状況を見ながら、市から解散の具申等を遺族会側に伝えるべきである。			
	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 会員数の減が見込まれることから、会の運営や継続性について注視していく。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。			
8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	施策名： 地域を越えたパートナーシップの確立 <input type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（平和事業）			
	9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 遺族会の意向を確認の上、今後は縮小の方向性で進めていく。		
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 遺族会の意向をもとに、必要な調整を行っていく。				